



氏名	RI
所属科	工学研究科 化学バイオ工学
学年	修士 2 年
留学先	語学研修（シェフィールド大学）
留学期間	2024/8/11~2024/8/31

留学レポート Study Abroad Report

<留学しようと思った理由>

幼少期に英会話に通っていたことや、学校で英語を学ぶ中でも得意教科で楽しく英語を学んでいたことから、英語を使って働くことや海外の人とコミュニケーションを取ることに憧れがあったためです。しかし、勉強としての英語は得意だったものの、スピーキングに関しては失敗するのが怖かったり、なかなか腰が上がりませんでした。そこで、身の回りすべてが英語の環境に行き、英語を話さなければならない状況を作りたいと思いました。高校では留学のような機会はなかったため、大学では行こうと決めていました。そのため、2年生の春休みに1か月の留学プログラムに申し込みましたが、ちょうどコロナが流行りだしたところでキャンセルになってしまいました。それ以降、コロナの状況や自分の都合がつかずチャンスがないままでしたが、大学生生活最後の年でいけるチャンスがあったためすぐに申し込みました。

<授業について>

授業は1コマ90分で、9:30~11:00、11:30~13:00、14:00~15:30です（金曜日は午後の授業はありません）。クラスのメンバーは10人程度で、そのうち他国籍の人は2~3人でほとんどが日本人でした。各テーブルには2~4人で座ります。

午前の2コマがLanguage Developmentで、TED Talkの教科書を使いながら2~4人のグループでディスカッションやリーディング、リスニングをしました。教科書の設問に沿って進める感じでした。また、テキストを使うだけでなく、1日の授業の初めにグループで、週末の出来事などトピックが与えられてスピーキングをする時間や、ミニゲームの時間などがあり、まだ寝ている脳を起こすような工夫をしてもらえたため、授業に集中できました。

午後の1コマはOption Classで、Business English、IELTS、Speaking/Pronunciation、Social Englishの4つから選べました。私はSocial Englishを選択しました。このクラスは、イギリスの文化を学びながら日常生活の会話を練習するという趣旨で、授業のほとんどの時間スピーキングをしました。午前でスピーキングの時間が少ない日があったとしても、午後のクラスでは必ずしっかり喋れるのでよかったです。

水曜日の午後のクラスはOnline Lectureで、イギリスに関わるトピックの講義でした。このクラスのみ60分で、オンライン授業なので大体の人は寮に戻って受けていました。水曜日の午前の授業ではonline lectureのテーマに沿ったディスカッションをしたり単語を学んだり準備してもらえたので、online lectureを理解しやすかったです。



OMU Students 海外留学レポート

<生活について>

イギリスの8月はとても涼しく、長袖に羽織や8月末はスウェットを着たりするくらいだったので、日本の蒸し暑い夏を忘れられてとても過ごしやすかったです。また、シェフィールドは治安が良く、一人で散歩したりするのも安心でした。ただ、坂が本当に多くてきつかったです！暗くなってからは変な人もいたので、なるべく出歩かないようにしました。

寮から徒歩10分くらいのところには、飲食店やスーパー、ショッピング街がありました。物価は日本の1.5~2倍くらいでしたが、自炊をすれば日本とそれほど変わらない印象でした。



<授業外の過ごし方について>

放課後は、卓球・バスケ・language exchangeなどのアクティビティに参加したり、スーパーに買い物やシェフィールドの散策、学校でできた外国人の友達とカフェに行ったりしました。アクティビティの中で外国人に話しかけに行き友達ができたので行ってよかったです。夜は自炊したり、時間があれば授業の復習をしたりしましたが、毎日とても疲れるので、10時半から11時くらいには限界で寝てしまいました。ただ、金曜日は午前で授業が終わるため、電車で出かけたりしました。

休日は、基本的に遠いところまで出かけました。土曜日には学校企画のデイトリップ（ノッティンガム・ヨーク）があったので、それに参加しました。日曜日には、スカーボロ、エディンバラ、オックスフォードに行きました。3週間でしたが、スケジュールを詰め詰めにしながらたくさんの都市に行くことができ、各都市の違いを発見したり、歴史的な建物やそこからの景色に感動の連続で、行ってよかったなと思いました。私の一番好きだった都市は、スカーボロです。海と山のある街で、ビーチでのんびりしたり、海で



OMU Students 海外留学レポート

遊んでいる子供たちを眺めるのが楽しかったし、スカーボロ城からの景色が本当にきれいでした！



日帰りスカーボロ旅



サッカー観戦



ヨーク



一泊二日でエディンバラへ

<留学で学んだこと>

この留学で学んだことは、大きく2つあります。1つ目は、英語はただのコミュニケーションツールであることです。留学前の私の英語力は、リスニングは大まかに言っていることが分かる、スピーキングは考えながらポツポツと話せるくらいのレベルで、特にスピーキングは全く自信がありませんでした。留学に行くならもっと喋れるようになってからじゃないと！と思っていたため、かなり心配しながら当日を迎えました。しかし、いざ行ってみると、文法がぐちゃぐちゃだったり単語単語で話してもある程度通じました。周りの日本人を見ていると、相手と話したい・伝えたいという気持ちが見える人、誰にでも明るい人は、言語の壁があっても仲良くなっていたし、どんどん話そうとするので上達も早いと思いました。なので、よく言われていることですが、英語を話せるか以前に“コミュニケーション能力があるか”が最も大切だと感じました。また、授業では日本に比べて発言する量が多いのですが、答えを間違えても否定されることはなく、「そういう風に考えることもできるね」「こっちの表現の方がいいね」というようにポジティブな返答をもらえるため、ミスすることに対して恐怖心がなくなりました。

2つ目は、“自分は自分のままでいい”という価値観です。イギリスは白人ばかりが住んでいると想像していたのですが、実際は世界中から移住者がたくさんいて、肌や髪の色、体系なども様々でした。日本ではみんなと違うと気にしてしまいがちですが、イギリスでそれぞれがあれのままでファッションを楽しん



Osaka
Metropolitan
University

OMU Students 海外留学レポート

でいるのを見て、自分も周りの目を気にせずに自分のやりたいようにしたいと思いました。また、自分の意見をはっきりと主張するところからもそう思いました。もちろん、彼らもコンプレックスなどあると思いますが、自己肯定感は明らかに日本人より高く、他人の目より自分のことに集中しているように感じました。

全体として、考えて立ち止まっても何も変わらないし、まず行動してみることが大切だと感じました。行動した先の自分がきっと何とかしてくれます。大体のことは何とかなるし、さらにその行動から大きな変化を起こせるかは努力が必要だと身をもって学びました。なので、この経験を忘れず、今後の人生でも失敗を恐れず行動していこうと思います。皆さんも、少しでも留学に行きたいと思っているなら絶対に行った方がいいです！英語が話せないことは考えなくてもいいと思いますし、公立大に入学している皆さんなら絶対に大丈夫です！

ここまで読んでくださってありがとうございます。私の体験談で、留学を迷っている人の背中を押せたら幸いです。